



知花 竜

小菊栽培農家 代表者



プロフィール

1977年読谷村波平生まれ。読谷小学校卒業。読谷中学校卒業。読谷高校卒業。1997年3月 大阪あべの辻調理師専門学校卒業。1999年6月 花の二葉屋入社。2001年6月 日比谷花壇入社(東京)2003年6月 花時入社。2007年6月 新規就農(小菊栽培)2010年4月 認定農業者。(読谷村在住)

“農業の原点”を忘れないこと。

売り上げのための仕事か。

「最初は親父の手伝いをしていました。キク栽培が好きでもなかったですね。むしろ嫌だった(笑)。そのあと料理人、花屋、農業と続けてきました。農業をやりながら花屋ができればいいというのが、この道に入ったきっかけです」。父の手伝いは2年間。独立して13年目。農園を広げたり機械化を進めたのはそれからだ。

「もちろん、売り上げも実績も上がりました。しかし休みもなかった。従業員にも無理をさせた。そこから疑問をもったんです。売り上げのための仕事かってね。それからは従業員のことを考えて経営することにしたんです。売り上げも考えながらとなると大変ですがね」。精悍な顔と体格のいい知花竜さんだが、やさしい人柄が伺える。

“農業の原点”を考える。

「西部連道(読谷村の土地改良地区の一画)の真四角に整備された畑は使いやすいですね。読谷は水もいいし土もいい」。読谷で農業をすることに太鼓判を押す知花さん。「い



小菊を抱えながら将来の抱負を語る

ま花キは60代から80代の先輩たちから受け継がれています。でも新しい方法を編み出していくなければなりません」。若手リーダーの知花さんの言葉に真剣さがみなぎる。

「今は第6次産業という複合型もあります。でもそれよりも農業は自然に恩恵を受けていますから、まず自然に還元する方法を考えたいです。例えば赤土流出の問題ですね。自然と向きあうことが“農業の原点”だと思います」。“農業の原点”に真摯に立ち向かう知花さんだ。

一番は担い手の問題ですね。

「もちろん村民だけで農地を活用していくことが理想です。しかし村外、県外からも受け入れることもこれからは必要です。積極的な技術指導、研修も課題です。今後は“食”的時代。その対応も必要。でも一番に大事なことは、担い手。いろんな所から人材を呼び込みたい。農業には大変なことも多いですが、そこで楽しさを生み出すことで“魅力的な農業”につながると思います」。



多和田 友

大添自治会 自治会長



プロフィール

1968年久米島生まれ。幼少を過ごし、小学校4年生の時に読谷村に家族で居住。古堅小学校、古堅中学校、中部工業(現未来工科)卒業後、本土へ就職し、6年程で沖縄に戻り、海の仕事、サービス業など経験し2011年、障害者支援を機に、公民館へ入り、2015年4月から大添自治会長に就任し現在に至る。明るく、楽しく、笑顔溢れる地域、安住の地を目指し活動を継続。(読谷村在住)

ここはみんなが輝ける場所。

始まりは地域住民の居場所づくり。

「この公民館は、地域の人たちの“居場所づくり”がスタートです。それで沢山の人が来るようになった。これが広いネットワークに繋がったんです。ここで学校にはない“社会勉強”によって、大人ともコミュニケーションがとれる子どもになってほしい」。多和田さんが将来の担い手づくりも考えた地域活動を熱く語る。

「子どもたちがいろんな大人たち、オジーやオバーたちとふれあいながら地域の行事にも関わってもらおうです。自己表現のできる子になってほしいですね」。公民館の役割から、子どもたちの将来も見据える多和田さんだ。

活発なコミュニティ活動。

大添地区的コミュニティ活動は活発だ。まず学童クラブでも児童館でもない“わんぱく広場”。放課後の子どもたちを公民館で積極的に受け入れている。この活動は各地から注目され、九州地区の公民館研究大会でも事例発表も行った。



区民手づくりで建てられた木造の大添公民館

地域緑化中心の美化活動や福祉活動も盛ん。県内外からの出身者も積極的に参加している。「来るものは拒まずですよ。ちなみに木造の公民館も区民たちの手づくり。みんな快く協力してくれますよ」。地域ボランティアの「見守り隊」も朝の声かけ運動でコミュニティを支える。「自治会は入りやすい、行きやすい、活動しやすいへの動線づくりが大事です」。楽しめる自治会を目指す多和田さん。

読谷村にしかできない“ひとつの演舞”を。

「各地域の青年会が集まって1つの演舞をする祭りなどの“輝ける場所”があるといい。全体で大きな輪になれば地域全体が読谷に誇りを持ち、小さな地区も活性化していく。また“わんぱく広場”的な取り組みが広がっていけば、その子供たちが村の行事に参加して大きくなっていく。それが読谷村にしかできない祭りに繋がると思います」。多和田さんの発想と夢は自治会から読谷村全体に広がる。



わんぱく広場(クリスマス会)